

## 企業連携出前授業 第13回

- ◆ 日 時 令和元年11月22日(金) 14:00~14:45
- ◆ 企 業 甲陽ケミカル(株)
- ◆ 講 師 黒住 誠司 様・権代 英之 様  
清瀬 正敏 様・泉 良太郎 様
- ◆ 小学校 鳥取市立津ノ井小学校
- ◆ 対 象 6年生 48名
- ◆ 内 容 キトサンの凝集作用とその利用について



「発明案」について説明する伊藤スタッフ

「キトサン」は、カニ殻から作られており、火傷や傷を早く治す効果があること、又、植物の生長を促進することなどから、医療・農業などさまざまな分野で活躍していると説明を受けました。凝集実験では、「ドロ水」「油」「米のとぎ汁」の3種類にキトサンを混ぜるとどのような変化があるのかを観察しました。そしてキトサンと混ぜた「ドロ水」をろ過することによって水とドロに分離でき、キトサンを凝集剤として利用したドロは農業等の再利用で大きな可能性を持つことを学びました。企業様が事前に社内で実験を繰り返し、結果がわかりやすく表れるように工夫してくださり、児童の皆さんは「凝集」という言葉は難しくても、実験を通して実際に自分の目で確認することにより理解していただけただけのように思われました。真剣な眼差しで実験をしている姿が印象的な授業となりました。

甲陽ケミカル(株) 講師の皆さま



### ★児童アンケートより★

- ・キトサンを使っていろいろなことが出来るのが分かって良かった。
- ・キトサンを使うとリサイクルに役立つなら、どんどんそれをして行けば良いと思った。
- ・どろ水にキトサンを入れたら、水と土に分けられることにびっくりしました。
- ・キトサンには、植物の成長を速くする効果があることを知ったので、今度やってみたいと思います。
- ・油はキトサンと混ぜると沈むことを初めて知った。
- ・実験などがあり楽しく授業ができて良かった。
- ・分からない時やどうすれば良いかを考えていたら、優しく教えてくれてうれしかった。
- ・キトサンの生産量は鳥取が一番多いことにびっくりしました。